昭和十八年九月廿六日

九月奉仕當番　鶴兄、松田兄　吉村姉、柴山姉

日曜禮拜次第　十時十分

説教　「磐上の家」　谷本牧師

奏樂（靜思）　畑とみゑ姉
國民儀禮
讚詠　五六六
使徒信經　五九四
主の祈
讚美歌　一四四
（起立の儘）
祈禱
交讀文　六
讚詠　五八七
聖書　マタイ傳七章二四―二七
讚美歌　五四八
説教
讚美歌　五五〇
獻金（着席の儘）　禮拜當番
報告　禮拜當番
頌詠　五六八
祝禱
後奏

本日禮拜當番　林兄、鶴兄　塩冶姉、高木姉　栗谷兄　神谷姉

【今週中諸集會案內】

◇日曜學校教師會　本日正午〔於社交室〕
此度學校を卒業する教師方の送別を致します。

◇家庭會　本日午後三時〔於府中　月藤家〕

◇聖旨奉戴聯合祈禱會　本日午後七時三十分
於鷹野橋廣島教會
奬勵　木村牧師

◇家庭會　九月廿七日（月）午後四時〔於小泉家〕

◇祈禱會　九月廿九日（木）午後七時三十分〔於小講堂〕

◇前週回顧

	禮拜	夕拜	祈禱會	顯榮會	組會	日曜學校
男	一六	二	二		四	
女	六二	三	一		七	
計	七八	五	三	五	一一	

禮拜獻金　四圓九拾六錢
日曜學校獻金

日本基督教團
廣島流川教會

禮拜の栞

皇紀二六〇三年
昭和十八年
九月廿六日發行

教會　廣島市上流川町
牧師館　幟町一三四（電中六〇〇八）
牧師面接日（每火曜日[illegible]日　於牧師館）

創立第五十七年第三十九週

【彙報】

來週日曜豫告

◇定例長老會　禮拜後
◇男子學生會　午後二時〔於小講堂〕
◇青年講壇　午後七時三十分〔於小講堂〕

今週の記念

【永眠】　吉田順一兄（昭和十三年九月二十六日）

◇廣島女學院專門學校卒業式は九月卅日(木)學行されます、決戰下の祖國に挺身すべく懷しの學園を巣立つ姉妹達の前途を心から祝福致します。

◇昭和十八年の標語
「汝の內に得たる神の賜物をますます熾にせよ」　テモテ後書一章八節

九月婦人會當番　塩冶姉、澤野姉　元吉姉、

【教友消息】

◇鶴　虎太郎兄姉　大陸方面に活躍する教へ子達より先生御夫妻御招きをうけ去る廿三日當地出發、空路北京へ御旅行さる、豫定は一ヶ月。

◇野口武夫兄　先週段原中町四〇九番地に御轉住さる。御父母様は從前通り富士見町に居住さる。

◇澤野吉種兄　此の度目出度く學校御卒業と同時に海軍技術尉官候補生として採用され近く御入所。

◇此度の風水害により大事には至らなかつたが左の兄姉宅は浸水の厄に遭ふ。誌上御見舞申上ぐ。
牛田組　林家、佐藤家
中央組　西村家、三川家
白島組　石丸家、後藤家、宇野本家
南組　吉村家、內田家、鈴木家
西組　佐久間家
教會に於ては地下室に浸水ありしも七月下旬のそれ程ではなく御安心乞ふ。

◇望月誌吉兄　釜山よりの歸途列車不通になり中途にて旅館に一泊餘儀なくされたが翌日御安着さる

◇岡　淑子姉　吉村家に御滞在、近くお產の模樣、御安產を祈る。

◇日野原善輔姉　教會に宛て叮嚀なる風水害の見舞狀を下さる。

◇林　八重姉　令甥南方にて御戰死の報を受けらる尊き犠牲を篤く感謝し謹みて哀悼の意を表す。

來週禮拜當番　坂出兄、高原兄　伊達姉、佐藤姉　迫田兄　野口姉

▽牧師　谷本清

（西廣9　B5. 300）

☞警報發令の場合集會は休會と致しますからお含みおき下さい。